

## 2019 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020 年 3 月 23 日
研究・研修課題名	透析技術認定士 認定試験の受験
研究・研修組織名 (所属)	MEセンター
研究・研修責任者名 (所属)	明穂一広 (MEセンター)
研究・研修実施者名 (所属)	雨宮秀幸、長谷川龍馬、郷原茜、古谷昭人 (MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ( )
該当者名(所属)	雨宮秀幸、長谷川龍馬、郷原茜、古谷昭人 (MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	第 40 回透析技術認定試験 (2019 年 5 月 11 日)、透析技術認定士
演題名・認証交付元等	透析療法合同専門委員会事務局
取得日・認定期間等	2019. 10. 1
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容① 目 的

当院は、5 年前に比べ約 1.4 倍の 2000 例もの血液透析を行っており、院内の透析技術認定士 2 名を主として、業務にあたっております。透析患者の高齢化に加え約 1 割の患者が障害者加算を算定しており、重症度、透析困難症例、集中治療部での 24 時間管理が必要な症例が増加しております。オンライン HDF など、多種多様な透析療法が開発され、薬物療法における血中濃度や、栄養管理についての知識等を学び、患者様 1 人 1 人に対する治療介入での至適透析を実施するため研修を受けた。今回は資格取得のために受験する。

②方 法

2019 年 5 月 11 日に開催される認定試験に合格し資格取得を行う。  
この資格は透析療法合同専門委員会事務局の主催となっている。

③成 果

事前に指定講習を受けることにより、透析技術認定士の認定の資格を得る事ができた。また講習・試験を通じて、基礎の知識から、普段の業務では関わることはない、腹膜透析、在宅透析、診療報酬と いった最近話題に取り上げられている物まで学び、透析医療の知識、理解が深まり、新しい知識の習得ができた。認定資格を生かし当院で透析療法を受けられる患者様にこの資格を生かして技術知識の提供を行う事が可能となった。また認定後は 5 年ごとに認定の更新を行っている。これは学会、講習、論文発表等をこなすことが更新の条件となっており、勉学の促進を図るものである。